

# 平成29年度 地域活性化事業交付金 交付決定事業一覧〔藤野地区〕

平成30年1月19日現在

	事業名	団体名	事業の概要	交付決定日	交付決定額 (単位：円)	全体事業費 (単位：円)
1	移動型図書館事業	なぐら図書を楽しむ会	事業の大きな目的としては、移動型図書館を地域住民とシェアする仕組みを整えることで、地域の様々な活動に「移動型」という機能を付け加え、アートヴィレッジやマルシェなど緑区の魅力的な活動を1カ所に限定せずに、地域外にも広げられるようにすることが挙げられる。また、同時に緑区内の中で移動型図書館を活用する形として、子ども達が自由に本を貸し借りできる環境を整えて読書機会を増やすことを事業の目的としている。	5月9日	261,000	261,000
2	藤野在住作家の展示会及びコンサート	藤野アート・コミュニティ	お年寄りから子どもまでが参加できるコンサートや落語を実施することにより、地域住民同士が交流する場を設定し、その中で、地域の自治会等と協働しながら、在住芸術家の活動に触れる機会を増やし、芸術文化を通じた新たな地域コミュニティの形成を図る。	8月10日	252,000	282,000
3	高齢者の健康増進！いきいき百歳体操普及事業	名倉いきいき百歳体操の会	いきいき百歳体操を普及させることで、高齢者が日常的に交流する場を設けると共に、高齢者の健康増進に貢献し、高齢者が元気に楽しく生活していける地域づくりに努めていく。	9月4日	200,000	270,000
4	自治会加入促進事業	藤野地区自治会連合会	黄色い小旗と自治会加入促進等のチラシを加入世帯及び未加入世帯の全戸に配布するとともに、自治会加入促進等のポスターを自治会掲示板に掲出し、自治会が果たす役割や機能をしっかり伝えながら、加入促進と脱退抑制に繋げていく。	1月17日	434,000	441,740
5	尾崎城跡整備事業	尾崎城跡保存会	1.尾崎城跡への道案内看板の設置をする事により、来訪者が増加し地域の歴史等を多くの方々を知ることが出来、菅井地域の良さが理解され、明るい未来のある地域づくりが出来活性化したい。 2.年に1度は地域の方々が集い、私どもの管内にあった尾崎城の歴史を偲ぶ会を開催し、未永く我が郷土を愛する地域とし、自治会退会者や地区外転出者を防止する。 3.大型看板前にベンチを設置し、来訪者が休憩をとれ魅力ある地域づくりの実施。	5月9日	110,000	157,140
6	藤野知って来て見てプロジェクト	藤野知って来て見てプロジェクト実行委員会	藤野の魅力とその認知度の低さとのギャップを埋め、首都圏の人たちに藤野を知ってもらい、来てもらい、その魅力を体験してもらうことを目的とする。そのことは、交流人口の増加につながり、ひいては移住者の増加をもたらすことにもなり、その面から藤野地区の活性化、まちおこしに貢献することになると考えている。	5月9日	300,000	450,000
7	荒廃地の有効利用、地域住民の交流促進事業	葛の里 羊牧場	・羊に庭、畑、耕作放棄地の雑草を食べさせることで、住民の労働軽減と景観の保持。 ・荒廃した土地の竹林(篠竹)を伐採、加工し、チップなどとして有効利用する。 ・放牧ゾーニングによるイノシシの農作物被害軽減。 ・羊の飼育を通して、地域の子ども、高齢者、家族間の交流の促進。 ・羊の飼育を通して、どうぶつや自然に触れ合う体験の提供。	5月9日	200,000	234,000
8	上河原地区河川環境整備及び環境教育事業	上河原たすきの会	河川を整備し、淀んでいた川を本来の姿に戻すことにより水中生物など多様な生態系を復活させ、地域の環境保全に寄与し、ほたる祭りの更なる充実を目指すとともに、地元の小学校への環境教育の場を提供する。また、環境教育を実施するにあたり地元の自然に詳しい高齢者を野外授業の講師とし、地域の資源のさらなる活用と世代間の交流を通して地域の活性化を図る。	8月10日	200,000	210,000
9	藤野地区認知症の人及びその家族支援事業	ゆずカフェふじの	認知症本人及びその家族の孤立防止、医療・介護の専門職や地域住民との社会交流等認知症に関する地域の共助の推進。	5月9日	300,000	348,000

	事業名	団体名	事業の概要	交付決定日	交付決定額 (単位：円)	全体事業費 (単位：円)
10	山コンin藤野	藤野商工会青年部	山コン事業を通じて若い登山客を集客し、藤野地域の魅力を伝え、リピーターを増やす。 陣馬山を出会いの山とし、藤野地域をさらにアピールしていく。	5月9日	300,000	478,000
11	日連地区環境美化活動	日連美花会	環境立地条件の利点を生かした「環境共生の里づくり」「交流の里づくり」に向けて、地域全員が参加できる活動を通して、住民の環境美化の意識向上や忘れかかっている住民同士の思いやり精神の再認識と安心・安全は基より「住み良い魅力ある里づくり」を目指し、地域活性化の重点課題の一つである限界集落の改善を図る。	5月9日	150,000	183,000
12	藤粋会にぎわいづくり事業	藤粋会	定年を迎えた世代やかつて青年会で活動していた人たちの地域デビューのきっかけをつくることで、世代間交流ができる環境を取り戻し、かつての賑わいを次世代につなぐことを目的とする。	5月9日	220,000	250,000
13	地域通貨によるお互い様ネットワーク事業	藤野地域通貨 よろづ屋	住民同士が知り合い交流すること、またそれぞれのもっている特技やいらなくなったモノなどの情報を共有することによって支え合いが出来たり、ゴミを減らすなどの効果をもたらします。 また、各市民それぞれが地域での貢献の場所、役割のようなものを見つけられるということによって、地域への参加意識が高まり、スモールビジネスのようなものが立ち上がりやすくなるのではないかと考えています。 その結果、地域内の様々な自給率が高まり、活性へとつながるとを目的としています。	5月9日	100,000	150,000